

#2

2024年から始まる
新NISAの徹底解説

勉強会クラスの説明

勉強会クラスでは、皆さんの資産形成に役立てていただきたいので、
『ご質問や感想など**積極的な参加**』をお願いいたします。私からもお聞きします ✨

◇進め方

- ・グループLINE：勉強会の質問はこちらにお願いします（セミナーの内容やお金の質問）
- ・30分お話 ➡ 30分質疑応答や補足事項で進めます
- ・さいごにアンケートを取らせていただきますので回答をお願いします

◇注意事項

- ・勉強会中に得た内容や個人情報などは外部に漏らさない
- ・勉強会やグループチャットにおいて、他者への誹謗中傷を禁止する。
- ・どんな簡単な質問でも聞いてください。あなたの質問が他の人の知識UPにつながります。

アンケートでいただいた内容

<今後のテーマ案>

- ◎資産贈与、相続について聞いてみたい ➡ NISAバージョンでは話ができます。
- ◎副業について聞きたい ➡またの機会にお話します
- ◎投資について深掘りしてもらえれば ➡投資手法や投資の知識などお話ししますね
- ◎具体的な家計簿の勘定科目と収支表をみたいです。 ➡またの機会にお話します

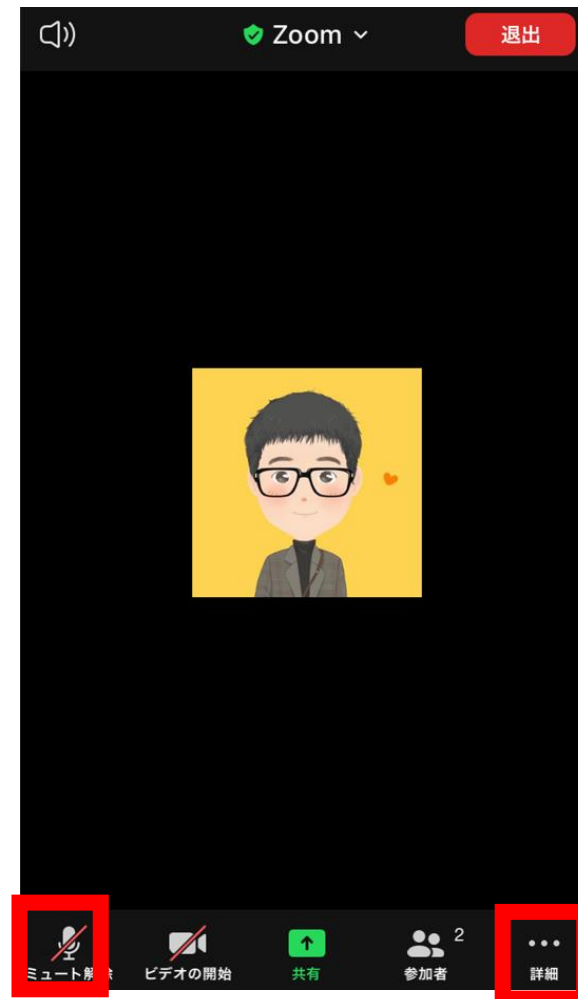
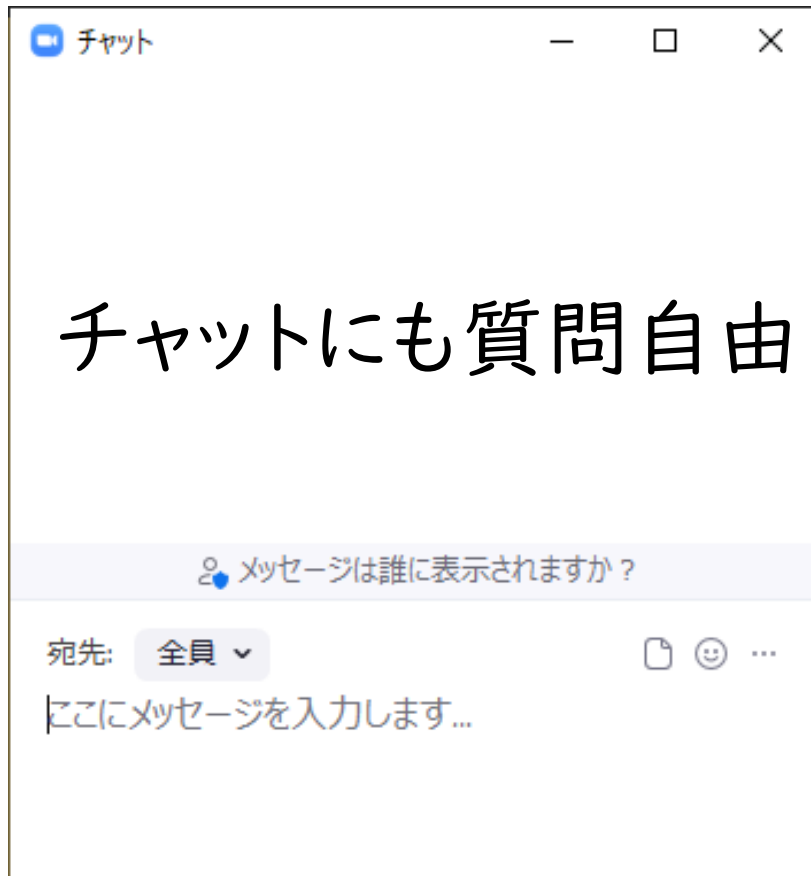
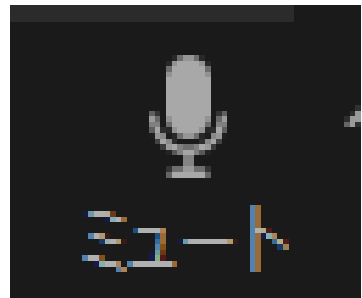
<その他>

- ◎声出しは厳しいのですが、いまいちチャットをどの程度使って良いのか分からない
- ◎おすすめされていた本もKindleで安くなっていたので購入したので読み勧めたいと思います。
- ◎楽天がよいとかSBIがとかそれぞれ経験してないとわからないことなので、試せるところは経験していかねばと思いました。
- ◎今のよう知識と質問の感じがわかりやすいです。質問できるってすごいなと思いました。

勉強会中のご質問は基本「声で」

PCの場合

スマホの場合



本日の勉強会の目次

1

新NISA制度の背景

2

新NISA制度と他制度の違いは？

3

新NISA制度の重要ポイント6選

4

知らないと損をする新NISAで変わる、新時代の資産形成

5

まとめ

Q 新NISAを理解して行動できていますか？

A

行動まで
できている



B

理解までは
できている



C

今日理解
します！



資産所得を増やすため

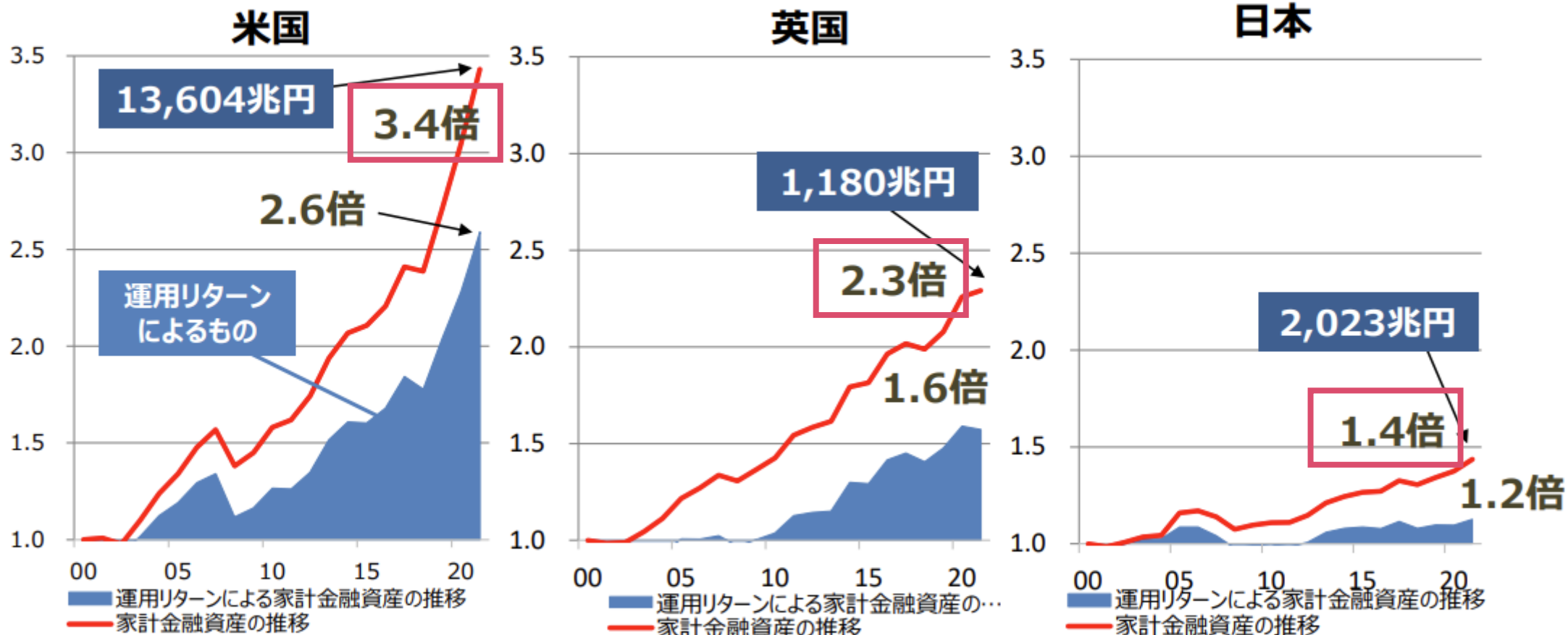
〔令和4年12月23日
閣議決定〕

家計の資産を貯蓄から投資へと積極的に振り向け、資産所得倍増につなげるため、
NISAの抜本的拡充・恒久化を行うとともに、スタートアップ・エコシステムを抜本的に強化するための税制上の措置を講ずる。また、より公平で中立的な税制の実現に向け、極めて高い水準の所得について最低限の負担を求める措置の導入、グローバル・ミニマム課税の導入及び資産移転の時期の選択により中立的な税制の構築を行う。加えて、自動車重量税のエコカー減税や自動車税等の環境性能割等を見直す。租税特別措置については、それぞれの性質等に応じ適切な適用期限を設定する。具体的には、Ⅰのとおり税制改正を行うものとする。

また、防衛力強化に係る財源確保のための税制措置について、Ⅱのとおり決定する。

新NISA制度の背景

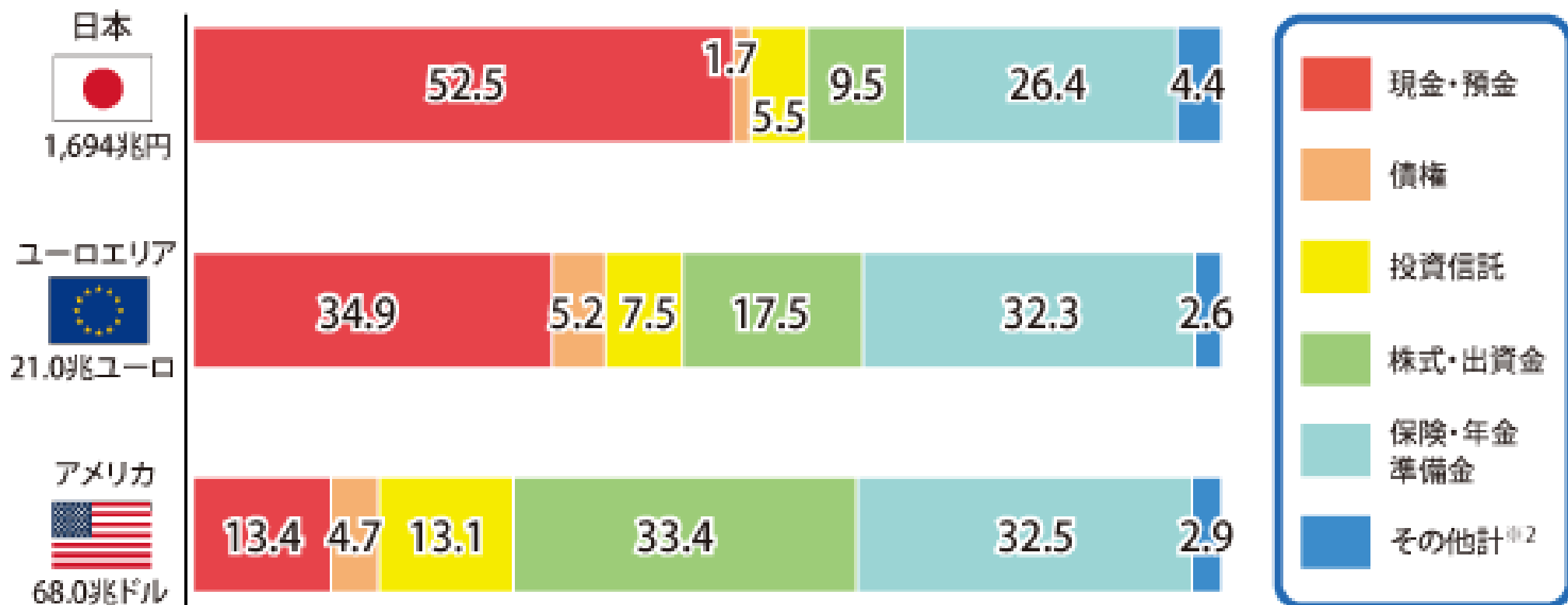
家計金融資産



日本は家計内資産が伸びていない… (円)

新NISA制度の背景

家計の資産構成日米欧比較 (%) ※1



※1 日本銀行調査統計局「資金循環の日米欧比較・家計の資産構成」より

※2 その他計は金融資産合計から「現金・預金」「債権」「投資信託」「株式・出資金」「保険・年金準備金」を控除した残差

資産が伸びないのは、現金・預金が原因

【最新版】NISA制度の違いまとめ

種類	現行（改正前）			改正後
	つみたてNISA	一般NISA	ジュニアNISA	新NISA
新規に投資可能期間	2018年～2023年	2014年～2023年	2016年～2023年	2024年～（恒久化）
非課税期間	最長20年間	最長5年間	最長5年間	無期限
非課税の投資金額	年間40万円	年間120万円	年間80万円	年間360万円 つみたて投資枠：年間120万円 成長投資枠：年間240万円
累計非課税上限額	800万円（開始時）	600万円	400万円	1800万円
投資対象	金融庁の基準を満たす 投資信託・ETF	上場株式（ETF・REIT含む） 公募株式投資信託	上場株式（ETF・REIT含む）、 公募株式投資信託	つみたて投資枠：つみたてNISAと同じ 成長投資枠：一般NISAから高レバレッ ジ投信などを除いたもの
併用 対象	併用できません。いずれかを選択 居住者等（18歳以上）		併用可能 居住者等（17歳以下）	2つの投資枠を併用可能 居住者等（18歳以上）
損益通算・繰越控除			不可	

◆スケジュール

種類	2023年	2024年	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
つみたてNISA	終了	新規投資はできないが、2023年投資分は2042年まで非課税運用可能																		
一般NISA		最大27年まで非課税運用可																		
ジュニアNISA		ロールオーバー不要（自動）で18歳まで非課税運用可能																		
新NISA		開始	非課税期間は無期限・投資はいつでも可能（恒久化）																	

新NISA制度の重要ポイント6選

- ①一般NISA（成長投資枠）とつみたてNISA（つみたて投資枠）の併用が可能に
- ②年間投資上限額が最大360万円（毎月30万円）に拡大
- ③生涯の非課税限度額が最大1,800万円で新設
- ④非課税運用期間の無期限化
- ⑤NISA制度の恒久化
- ⑥新NISAは途中売却しても枠が復活

ポイント①

一般NISA（成長投資枠）とつみたてNISA（つみたて投資枠）の併用が可能に

2023年まで

どちらかを選択

一般NISA

つみたてNISA

上場株式
(ETF・REIT含む)
公募株式投資信託

金融庁の基準
を満たす
投資信託・ETF

今までは、つみたてNISAを選ぶと
株式をNISAで購入できなかった

2024年から

どちらの枠も使える

新NISA

- ・つみたて投資枠：つみたてNISAと同じ
 - ・成長投資枠：一般NISAと同じ
- ※ただし、高レバレッジ投信などを除いたもの

つみたてNISAと一般NISAの
どちらの商品も購入できるようになる

ポイント②

年間投資上限額が最大360万円（毎月30万円）に拡大

2023年まで

どちらかを選択

一般NISA

つみたてNISA

年120万円

年40万円

2024年から

どちらの枠も使える

新NISA

新NISAは

年間計 **360**万円

成長投資枠
年240万円

成長投資枠: 240万円
一般NISAを継承
(レバレッジ投信は除く)

つみたて投資枠
年120万円

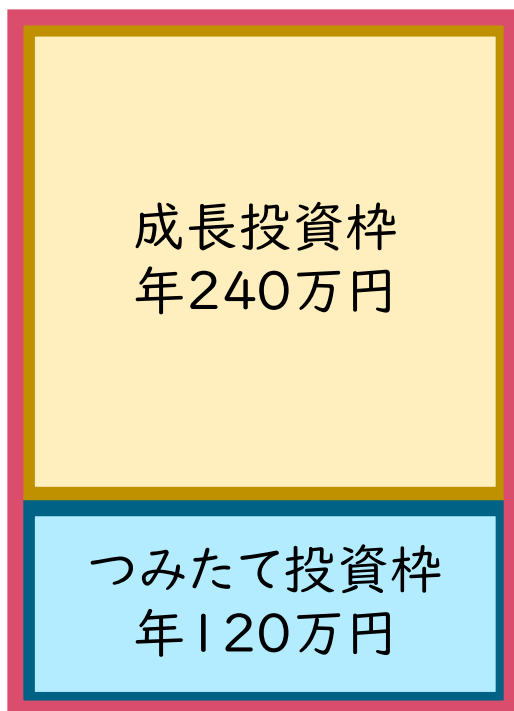
つみたて投資枠: 120万円
つみたてNISAを継承

ポイント③

生涯の非課税限度額が最大1,800万円で新設

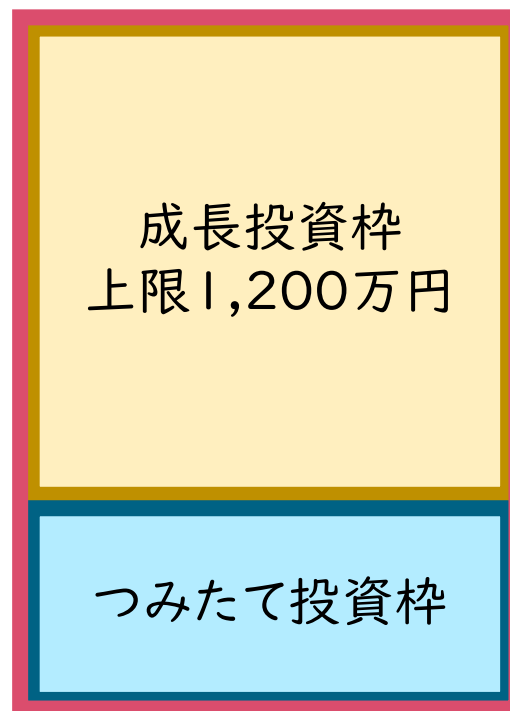
年間投資上限額

年間360万円まで投資可



生涯投資上限額

生涯1,800万円まで投資可



『生涯投資上限額』が登場

一生のうちに投資可能な
上限額は成長投資枠と
つみたて投資枠を合わせて
1,800万円という意味!

ただし、1,800万円のうち
成長投資枠上限は
1,200万円まで

つみたて投資枠上限は、
600万円~1,800万円

参考文献 『令和5年度税制大綱』(令和4年12月)

ポイント③

生涯の非課税限度額が最大1,800万円で新設

パターン①

例) 毎年2つの枠を上限まで
使用した場合

生涯投資上限額1,800万円
つみたて投資枠:年間120万円
成長投資枠:年間240万円

(内訳)

5年間投資

2024年360万円
2025年360万円
2026年360万円
2027年360万円
2028年360万円

パターン②

例) 毎年つみたて投資枠のみ
上限まで使用した場合

生涯投資上限額1,800万円
つみたて投資枠:年間120万円

(内訳)

15年間投資

2024年120万円
2025年120万円
...
2038年120万円

パターン③

例) 無理せず毎月3万円投資のみ
使用した場合

生涯投資上限額1,800万円
つみたて投資枠:年間36万円使用

(内訳)

50年間投資

2024年36万円
2025年36万円
...
2073年36万円

ポイント④

非課税運用期間の無期限化

従来の考え方

◇ ロールオーバー

非課税期間終了後に、翌年の非課税枠に
乗り換えて非課税を継続すること

ケース① 一般NISAの5年後

ケース② つみたてNISAの20年後

複雑な検討が必要だった

新NISAからの考え方

◇ 非課税運用期間の無期限化

- ・ つみたてNISA枠
- ・ 成長投資枠

どちらに投資をしてもずっと非課税

投資戦略の幅が拡大

ポイント⑤

NISA制度の恒久化

◇従来のスケジュール

※従来の新・NISAは廃止されます

種類	2021年	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
一般NISA	2023年まで																					
新・NISA				2024~2028年まで																		
ジュニアNISA	2023年まで																					
つみたてNISA	法改正で2042年まで																					



◇新しいスケジュール

種類	2023年	2024年	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	
つみたてNISA	終了	新規投資はできないが、2023年投資分は2042年まで非課税運用可能																			
一般NISA		最大27年まで非課税運用可																			
ジュニアNISA		ロールオーバー不要(自動)で18歳まで非課税運用可能																			
新NISA		開始	非課税期間は無期限・投資はいつでも可能(恒久化)																		

ポイント⑥

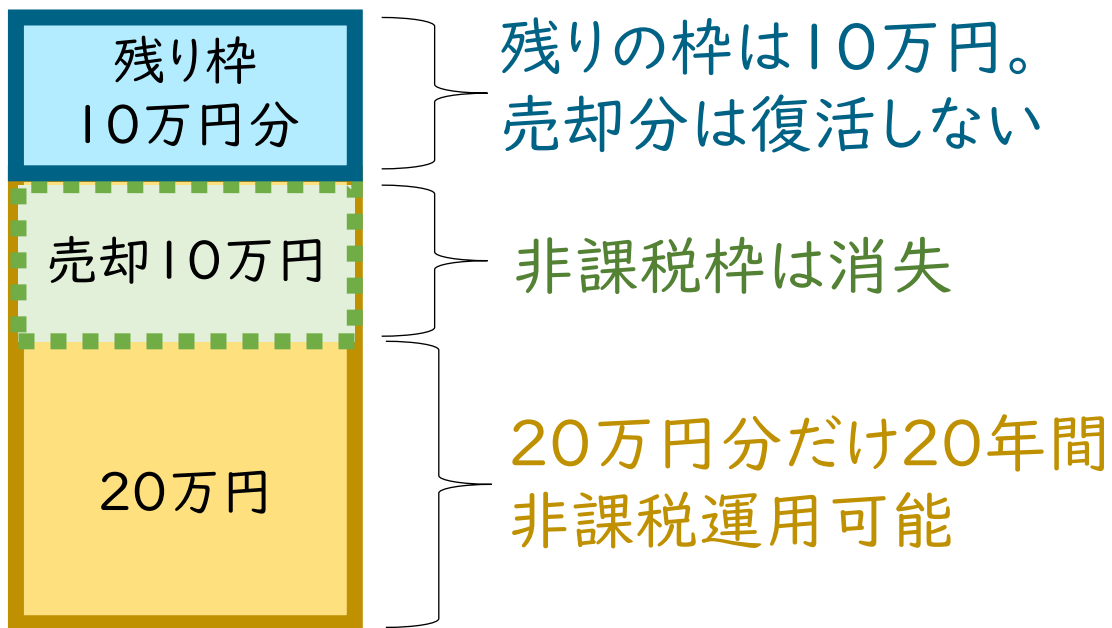
新NISAは途中売却しても枠が復活

途中売却した投資可能枠は、翌年から再び投資可能

例) (現行のNISAと新NISAの比較) 年間30万円積立し、その年に積立した10万円分だけ売却した場合

つみたてNISA

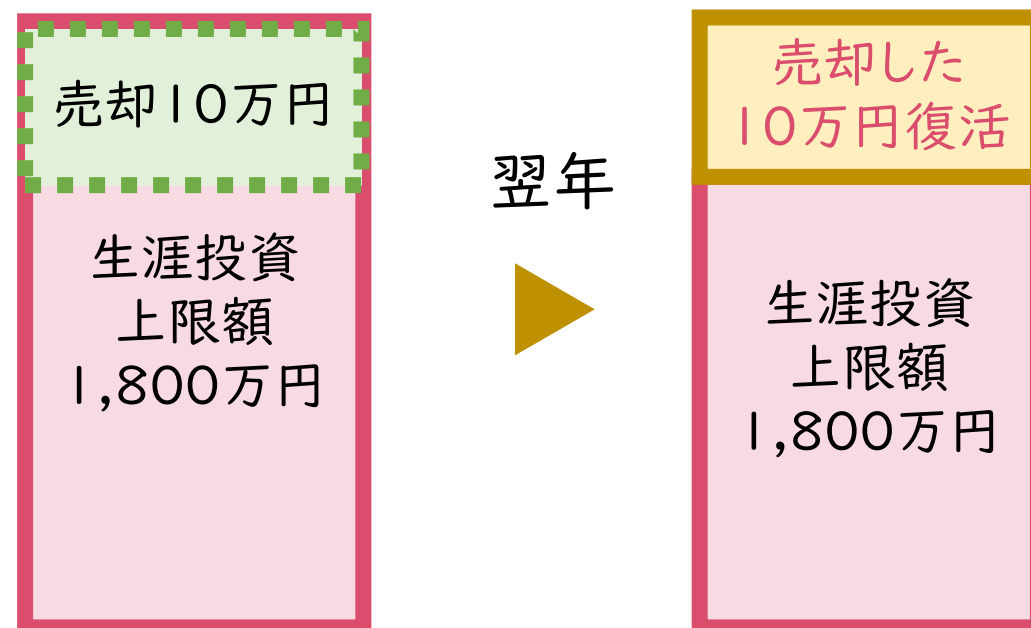
売却した10万円分の非課税枠は復活しない



新NISA

※説明簡略化のため
売却10万円は簿価とする

売却した10万円分の非課税枠は翌年に復活



知らないと損をする新NISAで変わる、 新時代の資産形成



知らないと損をする新NISAで変わる、新時代の資産形成

新NISAで重要になる考え方

①最大で毎月30万円積立できる…

Q1 自分の場合の積立金額をいくらにすればよいのか？

②非課税運用が無期限になった…

Q2 自分の場合はいつから取り崩せばよいのか？

③売却しても翌年から枠が復活する…

Q3 本当に売ってもいいの？いつどういったときに？

④超長期で運用し続けられる商品や投資枠を選ぶ必要がでてきた…

Q4 商品選びをどのように行えばよいのか？

※1つ1つテーマが大きいので、今回は紹介にとどめます。

Q1 自分の場合の積立金額をいくらにすればよいのか？

A. 目標金額を決めて逆算する

例) 必要な老後資産の計算

老後の収入と支出を計算し、積立シミュレーションを使って逆算する

※今後のテーマにします

老後の収入（用意できる老後資金）※定年65歳

項目	記号・計算式	金額 [万円]	確認方法
年金の毎月の額面金額	A	20	20
つみたてNISA	B	971	65歳時点での資産額を入力、積立シミュレーションで確認
iDeCo	C	670	65歳時点での資産額を入力、積立シミュレーションで確認
預貯金	D	1000	65歳時点での預金残高
退職金	E	500	65歳時点での退職金。勤務先の規則を確認
貯蓄型保険・個人年金	F	0	満期時の資産額を入力。保険証券で確認
その他	G	0	-

老後の支出（必要な老後資金）

項目	記号・計算式	金額 [万円]	確認方法
必要な毎月の生活費	H	17	家計簿
毎月の老後生活費以外の費用	I	1500	介護費、医療費、住宅修繕費 リフォーム代など概算で導出（およそ1500万円）

Q2 自分の場合はいつから取り崩せばよいのか？

A. ライフプランを決める

例) 必要な老後に備えて、NISAの取り崩しを考える場合

老後資金は「年金」+「NISA」

年金額をベースに長生きリスクをNISAの取り崩しで備える
(年金は繰り下げ受給をすれば、年金額をUPできる)

- ・何歳まで仕事を続ける予定なのか？
- ・今と同じ働き方はできなくてもよいならば、どんな働き方ができるのか？
- ・どれくらいの生活費が必要になるかな？

Q3 本当に売ってもいいの？いつどういったときに？

A. 臨機応変な資産形成を想定する

例) 20年以内で引き出す可能性がある場合は、元本割れを想定する

NISAの基本は「20年以上の長期投資」

もしも元本割れの状態で引き出す可能性があるならば・・・



「貯金」で備えられる準備



投資額を多くしすぎない

Q4 商品選びをどのように行えばよいのか？

A. 商品選びの原理原則を学ぶ

つみたてNISA対象商品の分類(2023年2月9日時点)

つみたてNISA対象：221本



ほんとうに221本から選んでいますか？

新NISA

- ①一般NISA(成長投資枠)とつみたてNISA(つみたて投資枠)の併用が可能に
- ②年間投資上限額が最大360万円(毎月30万円)に拡大
- ③生涯の非課税限度額が最大1,800万円で新設
- ④非課税運用期間の無期限化
- ⑤NISA制度の恒久化
- ⑥新NISAは途中売却しても枠が復活



新NISAがはじまると、いままでもより・・・

学んでいる人は賢く資産形成できる

知識0から誰でもできる 完全ロードマップ

夢

Step5 副業・投資

Step4 毎日楽しむ

Step3 つみたてNISA満額

Step2 生活費の6か月分の確保

Step1 つみたてNISAを開始

3ステップで
お金の不安を消す



ご質問タイム

今までの説明の中で
わからない点はありませんか？

または

聞いてみたいことはありますか？

◇今後の予定(変更あり)

- | | |
|----------|-----------------------|
| 2月10日(金) | 2024年からはじまる新NISAの徹底解説 |
| 2月17日(金) | 商品選びの原理原則 |
| 3月3日(金) | 投資方法(新NISA制度で活用できる方法) |
| 3月10日(金) | 出口戦略~万が一編~ |
| 3月17日(金) | 家計簿のつき方、勘定科目の考え方 |
| 3月24日(金) | 副業の考え方、方法 |

他のテーマ候補

- ・将来の老後資金のための積立金額の具体的な決め方
- ・年金の計算方法や確認方法

など